

令和 8 年 2 月 5 日

渋川市議会議員 安カ川 信之 様

渋川市議会 会派「創生渋川」及び副議長 行政視察報告書

創生渋川 代表 茂木 弘伸

副議長 板倉 正和

1、視察日程 令和 8 年 2 月 2 日 (月) ~ 3 日 (火)

2、視察場所 (1) 栃木県鹿沼市役所  
栃木県鹿沼市今宮町 1688-1

(2) 栃木県宇都宮市役所  
栃木県宇都宮市旭 1-1-5

3、視察議員 創生渋川 茂木 弘伸・反町 英孝・後藤 弘一  
副議長 板倉 正和

#### 4、視察報告

(1) 鹿沼市役所行政視察 (令和 8 年 2 月 1 日)

鹿沼市議会谷中恵子議長様から歓迎のご挨拶を頂き、その後「ジブンスタイルかぬま」をテーマに下記の項目について、総合政策部地域課題対策課係長から各々説明を頂いた。



議場にて議長と共に

##### ①鹿沼市移住・定住促進戦略について

###### ・情報発信の企画等

移住者への動機づけのため、鹿沼市を知りたくなる「魅力的な情報発信」を位置づけた。

(事例) 魅力的な暮らしをする移住者インタビューの活用。

移住体験モニタリングツアー。

移住者や移住相談者などによる交流サロン。等

###### ・作成の経緯と PR 方法

(事例) ライフスタイルが分かるように、人の顔が見える PR。

パンフレットと専用ホームページを連動させ、同じタイトルや構成に。

市内在住の若者自身による情報発信の促進。

事業展開 金銭的な補助だけではなく、移住後の生活をイメージしやすいよう、人と人がつながる仕組みづくりを進めていく。

移住者の動機⇒ 知りたくなる⇒行きたくなる⇒居たくなる⇒住み続けたくなる  
動機付けのため⇒ 魅力的な 体験メニュー 滞在時の 地域との交流促進  
めのアプローチ 情報発信 の提供 支援・補助

### ②鹿沼産木材による住宅新築助成制度について

- ・目的・ 鹿沼産木材の認知度アップと利用促進のため。
- ・要件・ 一定以上の鹿沼産木材を使用すること等。
- ・補助・ 定額+加算分（鹿沼産森林認証材の使用量）の地域商品券。

森林を守り、育てるために鹿沼地区で育った杉やヒノキ（森林認証材）を利用し、住宅用部材・土木部材・木工用部材など幅広く利用されている。

### ③イチゴ・ニラ就農支援制度について

- ・目的・ 全国有数のイチゴ・ニラの産地として、生産者不足を解消し、将来も持続的に栽培するため。
- ・要件・ 18歳～47歳で、研修終了後に市内で居住・就農すること。
- ・内容・ 「いちご」

1年目：農作業・栽培技術の習得、未来塾での基礎的知識の習得

2年目：研修用ハウスでの実践研修

「ニラ」

1年：農家での実地研修と未来塾での施設野菜全般の基礎研修

- ・支援・ 費用： 無料（未来塾受講料 50,000 円）

補助： 市外転入受講者 100 万円

就農時ハウス整備費等 300 万円



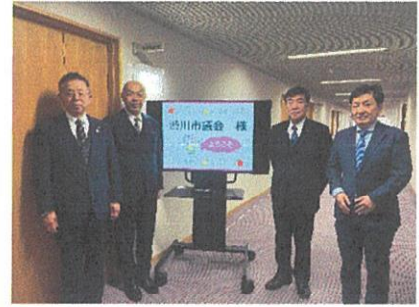
説明を頂き意見交換



市役所玄関前にて

(2) 宇都宮市役所視察 (令和 8 年 2 月 3 日)

宇都宮市議会副議長黒子英明様から歓迎ご挨拶を頂き、その後「芳賀・宇都宮 LRT (ライトライン) について、建設部 LRT 整備課主幹から各々説明を頂いた。



※LRT とは . . . . .

愛称: 「ライトライン」

雷都 + LINE (道筋・つながり)

会議室前にて

Light Rail Transit の略称で、各種交通との連携や低床式車両 (LRV) の活用、軌道・停留所の改良による乗降の容易性などの面で優れた特徴がある次世代の交通システムであり、宇都宮市と芳賀町に敷設された芳賀・宇都宮 LRT は、日本初の全線新設の LRT である。



(片道 44 分・400 円)

宇都宮駅から工業団地までの往復を実際に乗ってみました。

① 目指すまちの姿

宇都宮市のまちづくりと芳賀町のまちづくりは、2 つの拠点によるコンパクトな都市づくり

ライトラインを基盤とした階層性のある公共交通ネットワークの構築

基幹公共交通の整備

南北方向の鉄道に加え、東西方向の基幹公共交通として輸送力の優れたライトラインを整備。

バス路線の再編

公共交通空白地域の解消や、拠点間の連携強化等を図るため、バス路線を再編。

地域内交通・デマンド交通の導入

郊外部（宇都宮市）や芳賀町全域の移動手段として地域内交通等を導入  
公共交通間の連携強化

- ・乗り継ぎ拠点である交通結節点（トランジェットセンター）を整備。
- ・各公共交通機関で共通して使える交通系 IC カードの導入。
- ・公共交通の乗継割引制度の導入。

②JR 宇都宮駅東側の整備概要

③階層性のある公共交通ネットワークの形成

④地域連携 IC カード「totra（トトラ）」の導入と地域独自サービスの展開

- ・公共交通の乗継割引制度
- ・バスの上限運賃制度
- ・交通ポイントサービス

・小中高生への「totra（トトラ）」無料配付

・福祉ポイントサービス

満 70 歳以上の市民に 10,000 円相当の福祉ポイントを付与等。

⑤事業運営

⑥開業後の様子と整備効果

- ・利用者数の倍増。

・まち、ライフスタイル、移動に係る満足度等のおおきな変化。

⑦工業団地の造成と渋滞問題顕在化（渋滞対策としての大量輸送手段）

⑧駅西側への延伸

⑨その他

開業後の様子と整備効果

